

実入りのよいスイートコーンづくり

栽培のポイント

●倒伏させない！

スイートコーンは肥料をたくさん必要とし、肥料が足りないと貧弱な株になって、実も小さくなります。しかし、肥料を多くやり過ぎると株が倒れる可能性が高まります。バクヤーゼKなど肥効の長いボカシ肥と、発酵リン酸肥料のMリンPKの併用で、草勢の良い状態で、節間を短く育てましょう。

●受粉を良好にする！

雄穂・雌穂ともに分化する時期から株を充実させると、受粉も順調に行われます。受粉不良にさせないために、草丈が30～40cmほど（本葉5～5.5枚）になったら追肥し、受粉から収穫までの土壌水分を切らさないように注意しましょう。



スイートコーンの施肥提案（1a＝30坪）

資材名	元肥	追肥① （草丈 30～40cm の頃）	追肥② （雄花見え始めの頃）
苦土入りMリンPK	4 kg	3 kg	3 kg
バクヤーゼK	30 kg	—	—
NK化成	4 kg	1～2 kg	1～2 kg



天候不良で徒長の恐れがあるときは、
Pフォスタ 500 倍液をたっぷり葉面散布

高温・干ばつが続くときは、
アミビタゴールド2kgを適量の
水に薄めてカン水

スイートコーンの洗浄効果

イネ科のスイートコーンは、養分吸収力が高く、塩類集積・連作障害などを解消するのに役立ちます。収穫後のすき込みの際にバクヤーゼK10 袋も同時に投入し土中堆肥化すると、腐植質の供給にも役立ちます。



MリンPKで先まで実がびっしり！